

知ろう、一緒に。



AYA世代*のがんの今を知ろう。

日本全国で「つながる」「楽しむ」「学ぶ」1週間。

*AYA世代とは15歳～39歳の若い世代

2022.03.05 (SAT) – 03.13 (SUN)

AYA世代のがんとAYAweekについて知る冊子

AYA ZINE 2022



私たちは、
小児がん患児・経験者とその家族を
入院～就学～就労まで支援しています。

活動事例



〈ゴールドリボン〉 小児がん交通費等 補助金制度

小児がんの治療にかかる費用で最も負担の大きい交通費や付添いの方の宿泊費を助成する制度です。

自宅から100キロ以上離れている病院で入院や治療をする場合の交通費や付添いの方の宿泊費を年間1家族50万円を限度として支援しています。

〈はばたけ！ゴールドリボン〉 奨学金制度(給付型)

小児がん経験者の方で大学や専門学校への進学を希望されている方を支援する事を目的とする返済不要の給付型奨学金制度で月額4万円を支援しています。

小児がん経験者の方への 就労移行支援等

小児がん経験者への自立支援として、職場見学会と職場体験実習を実施しています。

〈ゴールドリボン〉 研究助成

小児がんを治る病気にするという想いで、治癒率向上のための研究への助成と研究者の海外留学を支援しています。

ゴールドリボン・ネットワークのFacebook、Instagram、Twitterでイベントや活動などの情報発信中！

フォローをお願いします！



Go  Ribbon
Network

認定NPO法人 ゴールドリボン・ネットワーク



ごあいさつ



AYAweek2022 実行委員長
大阪国際がんセンター 血液内科・AYA世代サポートチーム

多田 雄真

AYA week 2022実行委員会の委員長を務めさせていただいております、大阪国際がんセンターの多田 雄真と申します。

私は大阪でがん治療医として働きながら、AYA世代サポートチームとしても院内や地域で活動している中で、とくに心掛けていることは「つなぐ」ことです。

AYA世代ならではの課題に対して、社会保障制度や妊孕性温存、ピアサポートなどの情報をつなぐこと。そして患者さんと主治医・看護師の間だけでなく、ご家族、がん治療医とがん生殖医療医、時には医療機関や地域の行政、支援団体など、人や場所をつないでいくことが非常に重要だと考えています。

そこで今年のAYA week 2022では、3つのサブテーマとして「つながる」「楽しむ」「学ぶ」を設けています。

AYA week 2022をきっかけに多くの参加者・参加団体同士で新しい「つながり」が生まれることを期待しますし、当事者やご家族に「楽しんで」いただく多くの機会や、医療者や支援者にとって良き「学び」の場を皆で創出していければと考えております。

私もいろいろなイベントに参加させていただくことを楽しみにしておりますので、ぜひみなさんにも積極的にご参加いただければ幸いです。

世代特有の多くの課題を解決するためには、より多くの一般の方にも「AYA世代」という言葉を認知いただくことが必要です。

AYA世代の当事者の方、ご家族の方の生きづらさを少しでも減らすために、ぜひご自身の周りの皆さまにも、「AYA week」という取り組みについてご周知いただけると嬉しく思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



第4回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会 会長
一般社団法人全国がん患者団体連合会 理事長

天野 慎介

私自身も2000年、27歳のときに血液がんである悪性リンパ腫を経験した
AYAがん患者・サバイバーです。

当時はAYAがんという言葉もなく、

同世代の友人たちが仕事や恋愛、結婚や出産と人生のいわば成長段階にある一方、
自分のがんと向き合わなければならない中で人生の羅針盤も無く、
ひたすら孤独でした。

AYA世代のがん患者は、人生の成長過程で発症することから、
がんを発症し、治療を受け、治療を終えてから経過観察や社会復帰、
あるいは再発や病状の進行、いわゆる終末期や看取りを経験するという
一連の「ペイシェント・ジャーニー (Patient Journey)」を進んでいく中で、
成人のがんとは異なる多様な課題に直面することが指摘されています。

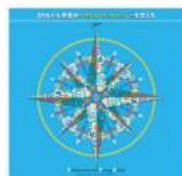
2022年3月20日・21日に開催される

「第4回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会」では、
私は学術集会会長を務めます。

学術集会のテーマは「AYAがん患者のペイシェント・ジャーニーを支える」。
いま、そしてこれからがんと向き合うAYAがん患者の皆さんに対して、
学術集会を通じて「ペイシェント・ジャーニー」の羅針盤を提供していくとともに、
AYA week 2022を通じて社会の理解と支援がひろがることを願っています。

第4回 AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会

大会テーマ：AYAがん患者のペイシェント・ジャーニーを支える



会長：天野 慎介（一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事長）
副会長：鈴木 直（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学）
渡邊 知映（昭和大学保健医療学部）

完全WEB開催

（会期中のライブ配信並びにオンデマンド配信）



↑学術集会
ホームページ

会期：Live配信：2022年3月20日（日）・21日（祝）

※19日（土）市民公開講座・当事者セッション

オンデマンド配信：2022年4月1日（金）～4月28日（木）



AYA WEEK 2022

知ろう、一緒に。 AYA week

今知ることで、変わることもある。

勉強のこと、恋愛のこと、遊びや働き方、そして「がん」のこと。

AYA世代とは、15歳から39歳の若い世代*。

選択肢が広がる世代だからこそ、いろんな可能性を知ってほしい。

がんを経験してきたあなたも、診断をうけて、

これからどうしようと考えているあなたも、

そして、今、がんとは接点のないあなたも。

知ろう、一緒に。

学校やネットだけでは分からない、AYA世代の「がん」のこと。

*思春期・若年成人を指し、年齢の範囲は、世界でも国の政策等によって異なります。

ABOUT : AYAweek2022

AYA week 2022では、3つのテーマを通じて
「若い世代とがん」の今を、世の中に発信していきます。

「つながる」

全国にいる仲間の存在を知り、つながる

「楽しむ」

多種多様なイベントを通じて、
楽しみながらがんの今を知る

「学ぶ」

がんを正しく理解し、役立つ情報を知る

AYA week 2022には、いろんな仲間が参加します。
医師や看護師など医療従事者の皆さんだけでなく、
患者さんや支援の団体、企業、学生さんやクリエイター、
ITのプロや学校の先生も。

職業も、年齢も、性別も、関係なく全国のサポーター達が、
がんの正しい理解や若いあなたの未来を願い、
SNSやWebサイト、オンライン配信や各地でのイベントを展開
していきます。



知ろう、一緒に。

AYA世代*のがんの今を知ろう。
日本全国で「つながる」「楽しむ」「学ぶ」1週間。

*AYA世代とは15歳～39歳の若い世代

2022.03.05 (SAT) - 03.13 (SUN)

AYAとは？AYA世代のがんとは？

AYAとは(Adolescent and Young Adult)と言い、
日本では15歳～39歳の若者層を指します。

AYA世代は人生の中で、多くの変化を体験する年代です。

学校・部活・友達・恋愛・アルバイト・サークル・
1人暮らし・就職…

自分の中の価値観がおおきく変わり、
新たな出会いとともに、未来の選択肢が広がる時期です。

AYA世代の皆さんにとって、
「がん」は遠いお話かもしれません。

しかし、「がん」は多くの場合、
まったく予想していなかったタイミングでやってきます。

小さい子供も、若者も、大人も関係なく、
あらゆる世代に、それは突然に。

日本人の

2人

1人が

生涯でがんになる時代



自分には関係ないと
思っていないですか？

AYA世代のがん患者数は1年間で

約2万人

「がん」と向き合うことに世代は関係ありませんが、大人に比べて、AYA世代の方への「がん」サポートがまだまだ整っていない現状があります。



AYA世代は国からの経済的な支援が乏しい



*18歳未満（引き続き治療が必要であると認められる場合は、20歳未満）

学校、働き方、将来の暮らし方や、恋愛や結婚、妊娠など。

選択肢がたくさんある世代だからこそ、
いろんなサポートがなくてとは考えています。

私たちは、若者世代のがんの今を発信することで、
あなたや、あなたの大切な人の
今と未来の選択肢につなげたいと考えています。

AYA 研 が提供する AYA世代がんに関する情報



情報サイト「AYA」
<https://pr.aya-ken.jp>

がんと共に生きる若者を支える
LINEアカウント：@ayaken

ACCESS

2022年3月5日(土)から3月13日(日)の期間にかけて、
日本全国で、たくさんのイベントが開催されます。
まずは、ひとつ。気になったものから参加してみてください。

AYAweekでは、ホームページや公式SNSで
イベント情報をはじめ、AYA世代がんに関する
さまざまな情報を発信中です。



公式website
<https://ayaweek.jp>



twitter
@ayaweek2022



Facebook
@ayaweek2022



Instagram
@ayaweek2022



Tiktok
@ayaweek2022



公式LINE
(@527jrniq)



AYAweek2022では、
少額から始められる
オンライン寄付を
受け付けています。
コーヒー1杯分のご寄付から
AYAweek2022の活動に
ご賛同いただけると幸いです。
(2022年3月31日まで)

コーヒー1杯分の応援が
AYA世代の
勇気(チカラ)になる



AYAweek2022
寄付サイトOPEN!
Syncable 300円から
寄付できます



VOICE #1

阪神タイガース 原口 文仁 さん



知人に紹介された人間ドックで、全く想定していなかったガンを宣告されました。

子供のころからの夢のプロ野球選手になれ・・・

ケガや故障も何とか乗り越え・・・

育成枠から支配下選手に再登録され・・・

一軍の試合で結果を残すことが、やっと出来るようになったシーズンオフの時でした。

ただただ驚きました。

でもなぜかすぐに、おこがましいのですが、自分がプロ野球選手として復活することが、

多くのガン患者さんに何か与えることができるのでは・・・

それが神様に与えられた僕の使命ではないかと思いました。

そこからは、自分がどんな形で復活するかイメージが、どんどん浮かび上がりました。

手術をして、リハビリをして、二軍の練習に参加！

そして、一軍の試合で活躍する最高の復活シーン

もちろん、完治することを思い込んで。

何の根拠もなく。

そして、本当にイメージ通りに、

手術から5ヶ月後の2019年6月4日千葉ロッテ戦。

フェンス直撃のタイムリーヒット。

打席に向かうときの尋常ではない大歓声、

待っていたファンの皆様の温かさ、

支えてくれた周囲への感謝、

そしてグラウンドに立てる喜びで、胸がいっぱいになりました。

その後野球では、もっとうまくなりたい思いで試行錯誤をしていますが、

毎日野球ができる喜び、生きていれる喜びを感じ、

些細なことに幸せを感じれるようになった自分がいます。

あの時、何気なく行った人間ドックで今があります。

ガンは早く見つければ治る病気だと信じています。

皆様、とにかく早く早く検診に行ってください。必ず大丈夫です。



VOICE #2

声優・タレント 矢方 美紀 さん



生きることは当たり前ではない、
何が起るかわからない毎日。
ここ数年、“命”について考える人は
多くなったのではないのでしょうか？

そんな中、自分ができることは何か？
今できることは何かを
考えていくことも増えていきました。

私は25歳の時に「乳がん」になりました。
まさ自分なるなんて、25歳って若すぎるのでは？と思うこともありましたが
なったからには治していかなきゃと
気持ちは何故か前向きになりました。

同じがんでも年齢や症状、
住んでいる場所や環境などで
100人いたら100通りあるんだと知りました。

まだやらなきゃならない事がある。
その中には“出来なくなる”と知った時、
改めて情報や自分自身の経験することの大切さを感じました。

多様化している中で“がんでも働いていける”
“がんでも夢を追いかけていける”ことを
ひとりでも多くの方に知ってもらいたいです。

一人で悩むこともありますが、
少し周りを見たらさまざまな場所から
仲間がいることを知ってほしいです。

#AYA世代 #相撲 #猫 #アニメ



VOICE #3

フリーランス/急性骨髄性白血病経験者 蒔田 真弓 さん



19歳の時、急性骨髄性白血病を発症し1年間の入院治療を経験しました。告知された時の、突然社会から切り離されたような不安と恐怖が混ざった気持ちは、今も忘れる事が出来ません。

AYA世代は、進学や就職、結婚など人生を形作るライフイベントが多い時期です。私自身、治療の影響で大学を休学・留年し、就職活動でも困難を味わいました。さらに、治療によって妊孕性を失った為、健康な同世代の結婚や妊娠に辛い気持ちになる日も少なくありません。

人生の基礎となる時期にがんを患った事で、思い描いていた将来の選択肢が一つ、また一つと消えていく、AYA世代の困難を身を持って体感しています。

AYA世代がん経験者の悩みや生きづらさが少しでも解消され、自分らしく生きられる社会になって欲しいとの思いで、微力ですがAYA week実行委員のお手伝いをさせて頂いております。多くの方に関心を持って頂く機会になれば幸いです。

VOICE #4



富山AYA世代がん患者会Colors代表 看護師 樋口 麻衣子 さん

AYA week 実行委員の樋口麻衣子です。私は、がん看護専門看護師として働きつつ、富山AYA世代がん患者会Colorsの代表をしています。

自分自身も27歳で甲状腺がんに罹患し手術や放射線治療を施行し、現在も投薬を継続することで日常生活を送れています。

その当時はAYA世代のことを調べても全然情報が無く、特に地元では情報を得られなかったため東京まで行って勉強していました。今でも自分の地域ではまだ十分に受けられない支援もあるのも現状です。どの地域に住んでいても必要な支援が受けられるように、AYA weekという全国的な取り組みにより地方でもAYA世代について考えるきっかけになればと動いております。

また、AYA weekの取り組みにより少しでもAYA世代について認知され、AYA世代の患者さんがありがたい自分になるための環境が整うことを願っています。

VOICE #5

認定NPO法人希望の会 轟 浩美 さん



希望の会は、スキルズ胃がん患者であった夫が設立した胃がん患者家族会です。がん対策推進基本計画の中で難治性がんの代表として明記されているスキルズ胃がんは、AYA世代の罹患が多いことも特徴です。会員の半数がAYA世代である患者会代表として、声を届ける機会を失いがちな現状や想いが死角にならないよう発信していきたいと思っています。今でも告知の瞬間、世界がモノクロになり、世の中から切り離されたような孤独を感じたことが蘇ります。あの時『ひとりではない』と思えたら、過ごした日々は違ったものになっていたと思っています。医療は生きる日々を支えるものであり、社会の理解が生きる日々をより良いものにしていけると信じ、AYAがん啓発に取り組んでいます。

『過去の原因は「解説」になっても「解決」にはならない』

『自分に何ができるかを考え、それを実行すればいい』

私を支えているAlfred Adlerの言葉です。AYAweekが心に届き、それぞれの一步が繋がって、誰もが生きやすい社会を築いていくことを願っています。

VOICE #6



小児がんサバイバー 医療ソーシャルワーカー 入江 真依 さん

私は11歳で小児がん罹患し、現在は晩期合併症を抱えながら生活しています。がんは完治してもなお、社会で生きていくためにはさまざまな「壁」があります。「がん経験者」という背景を背負っているだけで、就職・結婚に関してたくさん悩み、辛い思いをしてきました。今では、病気は自分の一部であり、病気になったことで出逢えた仲間もたくさんいるので、大切な自分の一部でもあると思っていますが、まだまだ世間的にはAYA世代の認知度は低く、支援体制が整っていない現実があると思います。

例えば、専門職の支援を受けたくても介護保険制度の対象世代ではなく、私のように難病指定をされている晩期合併症があっても不自由な思いをしていても日常生活が送れていれば、身体障害者手帳等の対象にはなりません。医療が発達してきて、「がんと共に生きる」「晩期合併症と共に生きる」ひとたちが増えてきたからこそ、多くの人たちに正しい知識が拡がり病気があっても、なくてもみんなと一緒に生きていける世の中になってほしいなと思っています。

VOICE #7

NPO法人がんノート 岸田 徹さん



若い世代でも“がん”になることがある。

僕は当時、全く知らなかった…。

小児がんとか、高齢者のおじいさんやおばあさんが、がんになるというのは知っていたつもり。まさか週1で、ジム通いをして健康に気をつけていた”つもり”の自分が、がんになったなんて…。

今でも信じていません。笑。

すみません。

それくらい信じられなかったんですね。

まさか自分が…。

ただ、はじめの時に、もっと情報や環境が整備されてれば、

状況も違ってたんやろなと思っています。

当時、首が腫れていることに気づき、近くのクリニック（内科）に行ったら医師から、”インフルエンザじゃないか”と。

そのあと簡単な検査しても何も無かったから、”大丈夫なんや!!”

と放置を続け、明らかに体調悪くなった約半年後、大きな病院でそれが、がんだとわかり…。

その時には、首だけでなく、お腹など（リンパ節）にも転移していました。

そのあとの治療や手術の体への負担、後遺症などを考えたら、

“もっと早くわかっていれば…”

と今でも思います。

若い世代でもがんになる可能性があること、

そして、皆さんにこの世代のがんについて、少しでも触れてもらって、

僕と同じ状況の人がいた時に、頭の片隅にでも可能性を考えて欲しい。

そうすることで大変な状況になる人を少しでもなくせるんじゃないか。

と思っています。

そのために、皆さんに知ってもらう機会が必要となるわけですね！

だから、このAYA weekで少しでも多くの方に、AYA世代のがんについて知ってもらい、

社会や環境などが整備されてくることで救われる患者さんやご家族が増えることを

切に願っています！

VOICE #8



国立病院機構名古屋医療センター 上席研究員
AYAがんの医療と支援のあり方研究会 理事長

堀部 敬三 さん

ご存じですか？AYA世代のがんのこと。

ご存じですか？あなたの思いを理解し合える仲間がいること。

ご存じですか？AYA week 2022には全国のがんと向き合う若者や医療・支援に携わる人、応援する人が参加していること。

AYA week 2022では、全国各地でAYAがんと向き合う人たちやそれを応援する人たちにより様々な形でイベントが開催されます。参加の仕方も交流、観覧、傍聴など様々です。

あなたが学んだり、楽しんだり、つながったりできるイベントがきっとあると思います。

開催イベント一覧をご確認下さい。AYA week 2022が、一人でも多くの方に、AYA世代のがんのことを知っていただき、がんやいのちとの向き合い方を考え、自分にできることを探していただく機会やきっかけになることを願っています。



一般社団法人

AYAがんの医療と支援のあり方研究会



←AYA研
ホームページ

思春期・若年成人（Adolescent and Young Adult, AYA）がん領域の学術活動、教育活動、社会啓発及び人材育成等を行うことにより、思春期・若年成人がん領域における医療と支援の向上に寄与することを目的として、医療者、研究者、患者、家族などが協働して活動する研究会です。（略称：AYA研、英語名称：AYA Oncology Alliance）

1. ビジョン

がんと共に生きる若者を応援できる医療と社会

2. 取り組む課題

AYA世代でがんを経験した人たち、AYA世代のがん患者の医療や支援に関わる人たちと共に、AYA世代のがんに関する学術活動、教育活動、社会啓発及び人材育成を行います。

SPECIAL PROJECT：実行委員会企画

AYAweek2022実行委員会でも、みなさまに参加いただける
さまざまな企画を準備しています。

① AYAweek2022「つながる」大交流会



AYAweek2022実行委員会企画
「つながる」イベント

オンライン 

大交流会

日時：3月5日(土) 20時～22時
開催形式：オンライン(ZOOM)
無料(事前申込必要)
対象：どなたでも

こちらのフォームから
お申し込みください→ 



AYAweek開催1日目に
どなたでも参加できる
大交流会を開催します。
全国どこからでも、
オンラインで参加できます。



② AYAweek2022応援フラッグ

グループで協力して応援の気持ちをカタチにしよう！

【応援フラッグの作り方】

紙・布など型式・サイズは自由です。
フラッグ内に AYAweekロゴ+団体名を
大きく記載してください。



完成したフラッグと撮影した写真は
AYAweek広報(kouhou@ayaweek.jp)に
お送りいただくか、
ハッシュタグ

#知ろう一緒に #AYAweek2022 をつけて
SNSに投稿してください。



九州がんセンターでの
応援フラッグの例
(AYAweek2021にて)

SPECIAL PROJECT：実行委員会企画

③ AYA世代がんについて「学ぶ」セミナー



AYAweek2022実行委員会企画「学ぶ」イベント

WEBセミナー＋交流会



高校生が入院したときに知ってほしいこと

日時：3月12日(土) 18:00～

開催方法：オンライン(ZOOM) 参加費：無料

申込方法：事前にGoogle formより申込 (3/10まで)

<https://forms.gle/6ESqLJoAfU6eGZy6> →



第1部：WEBセミナー (18:00～19:30)

1 問題提起：高校生がん患者のニーズとは？

ホスピタルフレンズ (国際医療福祉大学 医学生ボランティア) より

2 具体的な支援を知る・考える

● 教育：様々な立場からの支援

医療者：成田赤十字病院 小児科副部長 寺田和樹 先生

支援学校：四街道特別支援学校 校長 日下奈緒美 様

支援団体：オンライン院内学級KAYOUプロジェクト 代表 西岡真由美 様

行政：千葉県教育庁 教育振興部 特別支援教育課 指導主事 深澤 祐子 様

● 小児慢性特定疾患、医療費限度額申請などの社会制度

成田赤十字病院 MSW係長 関 理枝子 先生

● 妊孕性に関する支援

成田赤十字病院 がん相談員 (がん・生殖医療専門心理士) 小林 千夏 先生



3 総括

AYA week 2022実行委員長

大阪国際がんセンター 診療主任 多田 雄真 先生

第2部：オンライン交流会 (19:30～)



主催：AYA week 2022 実行委員会

共催：成田赤十字病院、ホスピタルフレンズ：国際医療福祉大学 医学生ボランティア

オンライン院内学級KAYOUプロジェクト、四街道特別支援学校、千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課

AYA week 2022 がん生殖医療学生セミナー



一緒に知ろう、 がんになること、子どもをもつこと

「妊孕性」という言葉を知っていますか？
AYA世代のがん患者さんにとって妊孕性はどんなものなのでしょうか。
そして未来の医療を担う私たち学生にできることは何でしょうか。
AYA世代の「がん」と「妊孕性」について、一緒に知ってみませんか？

2022
3/13(日)
15:00-16:30

参加費
無料

対象：全国の医療系学生



オンライン開催
(zoom meeting)

右記のQRコード又は
URLからお申込み下さい。



当日申込みOK!

<https://forms.gle/ic7XbQzSY6GnJCYC7>

<Time Schedule>

15:00	学生代表挨拶
15:05	ミニレクチャー「がん治療と妊孕性」
15:20	追体験企画「あなたならどうする？」
	専門家レクチャー「AYA世代がんと妊孕性温存治療」
15:30	三宅 達也 先生 (大阪大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 助教)
	当事者の声を聴こう
15:50	① 三井 里美 さん (メラノーマ 経験者) ② 紙 雄規 さん (急性骨髄性白血病 経験者)
16:20	感想・Q&Aトークセッション
16:27	医療従事者挨拶

主催：医学生・看護学生有志（旭川医科大学・東京医療保健大学・富山大学・長崎大学）
共催：CancerWith（オンラインがん相談支援サービス）
後援：日本産婦人科学会、日本がん生殖医療学会、AYA week 2022実行委員会（企画協力）



SPECIAL PROJECT：実行委員会企画

④ AYAAweek2022 応援メッセージボード

応援の気持ちをカタチにしよう！

たくさんのメッセージボードが寄せられています！

作成方法 ①

- ① 公式ホームページから
テンプレートをダウンロード
(Microsoft Powerpointが必要です)
- ② 写真とお名前(+ご所属)を入力
- ③ PDFまたはPNG形式で保存

作成方法 ②

- ① 写真とお名前(+ご所属)を
AYAAweek広報にメール
(kouhou@ayaweek.jp)
- ② AYAAweek広報から
メッセージボードがメールで届く

ニックネームやSNSアカウント名での投稿、後ろ姿やイラストの写真でもOKです

ハッシュタグ **#知ろう一緒に** **#AYAAweek2022** をつけて投稿！



#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

高濱 隆幸

石原大学病院 腫瘍内科/がん医療センター

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

橋口 絵里奈

NPO法人スマイルハート 代表理事

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

藤澤 文絵

大阪府がんセンター 腫瘍内科/がん医療センター

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

田口 真由美

大阪大学大学院医学部 がん予防・検診内科学

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

小関 通夫

徳島県小豆島のAYA世代のがん医療推進センター (徳島大学小豆島)

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

中嶋 万梨子

がんの心臓科 岡山大学大学院 人間科学研究科

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

森 洋文

日本がん・生殖医療学会 癌研・電子検診推進委員

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

楠木 聖範

TEAM NEXT GOAL 発起人 / DLG2 がん医療 小児科医

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

松本 恵

長崎大学病院 乳腺・内分泌外科/遺伝性がんセンター

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

日置 三紀

福岡医科大学医学部腫瘍内科学 副部長

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

尾上 琢磨

兵庫医科大学センター 腫瘍内科

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

入江 真依

大阪府がんセンター 腫瘍内科/がん医療センター

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

橋口 麻衣子

岡山AYA世代がん通信会Colors代表、看護師

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

富岡 晶子

東京医科歯科大学医療保健学部看護学科

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

白石 恵子

岡山県がんセンター がん相談・相談センター

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

福地 萌子

大阪電子医療センター

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

福島 健太郎

大阪大学 出産・産婦人科学

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

#知ろう、一緒に。



AYAweek2022を応援しています！

真田 佐知子

山口病院 産婦科センター 助産師

AYA世代のがんの専門家。日本全国で「AYA世代」の啓蒙活動に力を入れている。

2022.03.05(SAT) - 03.13(SUN)

EVENT

AYAweek2022では、全国から「つながる」「楽しむ」「学ぶ」ためのAYAweek関連イベントが企画・開催されています。

イベントの詳細は公式Webサイトや公式SNSをご確認ください。

Webサイト(<https://ayaweek.jp>)では、開催日・テーマ・キーワードなどでイベントを検索できます。



facebook, twitterでは検索窓に「AYAweek関連イベント情報」と入れて検索すると、過去に投稿されたイベント関連情報を確認できます。

掲載内容は2022年2月時点の情報です。イベント内容や開催日時は変更される可能性がございます。あらかじめご了承ください。最新の情報はWebサイト(<https://ayaweek.jp>)をご確認ください。



2月

NPO法人スマイルハート

AYAを知る★大学生がん教育シンポジウム

2月16日

山形大学医学部附属病院

**東北次世代がんプロ養成プランインテンシブコースセミナー 小児思春期
若年成人（AYA世代）がん医療研修コース**

2月18日

日本女子大学 家政学部 食物学科 公衆栄養学研究室/食育ボランティアグループ

AYA WEEK 2022・大学生のオンライン勉強会

2月19日

認定NPO法人希望の会

『家族』～AYA世代のがん、家族の想い～

2月23日

若年がん患者会ローズマリー

2021年度 第4回 ローズマリーオンライン交流会のお知らせ

2月27日

認定NPO法人希望の会

**『AYA世代はがんだけじゃない』
～病と共に生きるからこそ思うこと、見えること～**

2月27日

3月5日(土)

一般社団法人がんと働く応援団

**AYA世代必見！チームで取組む 治療と仕事の両立プロジェクト
～がん経験者のあなたが司令塔～**

10:00～12:00

血液疾患を考える患者・家族の会「リボンの会」

オンライン講演・交流会

14:00～16:00

認定NPO法人にこスマ九州

にこトーク

14:30～

AYAリバ～AYA世代の自由なカタリバ～

「AYA世代ぶっちゃけトーク」

20:30～22:00

AYAweek2022実行委員会

大交流会

20:00～22:00

3月6日(日)

若年性がんサポートグループAYACan!!

**【AYA Week オンラインサロン】
お子さんと参加OK！Pの部屋／看護師と話そう！MRの部屋**

10:00～12:00

大阪母子医療センター 小児がんセンター

AYA世代の小児がん経験者のお話—みんなそれぞれ—

13:00～15:00

中外製薬株式会社

おしえて 若い世代のがんのコト【市民公開講座】

14:00～15:25

成田赤十字病院

多くの人に知ってほしい！高校生がん患者に対する当院の支援

15:00～16:00

皆が知っておきたい、がん経験者の長期的健康管理に関する情報

16:30～17:30

小児がん経験者ネットワークシェイクハンズ！

シェイクハンズ！14th ONLINE

岐阜市民病院

**AYAWEEK 2022 Gifu
～AYA世代の支援体制啓発イベント(仮) in カラフルタウン岐阜**

EVENT

3月7日(月)～

国立病院機構名古屋医療センター AYAサポートチーム

知って、応援！ AYA世代のがん。

3/7～3/11

にゅうわ会及川病院

つなく、伝える、広がる、AYA世代応援WEEK

3/7～3/13

3月7日(月)

CancerWith

AYA世代のためのTwitterスペース（仮）※変更の場合あり

21:00～

3月8日(火)

ひといろプロジェクト（主催）+eshito（参加団体）

AYA世代へのセルフケア・トーク！

～笑顔を運ぶケア帽子 誕生ストーリー&味方になる色のチカラ！

18:30～20:00

NPO法人HopeTree

子育て世代の患者さん、ご家族を支えたい医療者の集い

19:30～21:00

アッヴィ合同会社 近畿エリア

AYA Week AbbVie Hematology Web Seminar in Osaka

大阪母子医療センター 小児がんセンター

「AYA」を応援します！カラーマスク啓発活動

掲載内容は2022年2月時点の情報です。イベント内容や開催日時は変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。最新の情報はWebサイト(<https://ayaweek.jp>)をご確認ください。

NOTICE



3月9日(水)

ノバルティスファーマ株式会社

Cancer Supportive Care Web Seminar
～AYA世代のがん治療後の地域ケアをどう繋げていくか～ 18:30～19:30

武田薬品工業株式会社

泌尿器がん領域におけるがん治療と就労の両立支援 18:30～20:00

TSURUMIこどもホスピス

「TSURUMIこどもホスピスのええとこ」(オンライン開催) 19:00～20:00

AYA Cancer Support Pharmacists Group

The AYA oncology seminar for Pharmacist 19:00～20:30

AYA's Journey Japan

AYA世代がん患者と一緒に考えよう！これからのがん看護 19:30～21:00

CancerWith

AYA世代のためのTwitterスペース(仮) ※変更の場合あり 21:00～

国立国際医療研究センター病院

はじめての精神腫瘍学

3月10日(木)

武田薬品工業株式会社

第2回AYAがんの医療と支援シンポジウム
AYA世代のがんの医療ニーズを考える ～パートナーを目指して～ 13:30～16:30

東京都立多摩総合医療センター

子宮頸がんとHPVワクチン 18:00～19:00

AYA世代(15～39歳)がん啓発の輪を拡げよう！



H A S H T A G

#知ろう一緒に
#AYAweek2022

AYAweek2022イベント関連投稿には
投稿文内に@ayaweek2022を入れて
公式SNSにお知らせください

AYAweekに関連するイベントの開催や
イベントに参加したなどのSNS投稿には

ハッシュタグ
#知ろう一緒に #AYAweek2022

をつけて投稿してください！

3月11日(金)

九州がんセンター

生殖機能温存トータル支援 ～支援のカギを握るのはあなたです！～ 18:00～19:00

特定非営利活動法人がんネットジャパン

オンラインイベント：病気になったAYA世代の恋愛どうする？ 18:00～20:00

日本がん看護学会特別関心活動グループ 小児・AYA世代がん看護SIG

「妊孕性」のこんなときどうする？ ～いま私たちが考えていること～ 18:30～19:30

中外製薬株式会社

地域におけるAYA世代支援を考える — AYA WEEK 2022年 — 18:30～20:15

CancerWith

AYA世代のためのTwitterスペース（仮）※変更の場合あり 21:00～

がん研有明病院 チャイルドAYAチーム

CAYAトーク ～「こんなときどうしてる？」を共有してみませんか～

長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校

「高校生と一緒にAYA世代のがんを考える」

3月12日(土)

(主催) 認定特定非営利活動法人シャイン・オン・キッズ (共催) 成田赤十字病院

ふりかえりビーズ（ビーズ・オブ・カレッジ）
～自身が受けた治療の記録を残そう！～ 10:00～12:00

シャイン・オン！フレンズ
～AYA世代を迎えた小児がん経験者のための交流サイト開発に向かって～ 14:00～15:00

(主催) AYWeek～都古都古(とことこ)ウォーキング2022～

(共催) 京都大学 がん専門医療人材養成プラン

AYAweek～都古都古(ウォーキング)2022～ 10:00～15:00

AYAweek2022実行委員会

共催) 成田赤十字病院、国際医療福祉大学医学生ボランティア、オンライン院内学級
KAYOUプロジェクト、四街道特別支援学校、千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課

高校生が入院したときに知ってほしいこと WEBセミナー＋交流会 18:00～

若年性がん患者団体 STAND UP !!, 認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク

AYA Meeting 2022 ここでしか聞けない、話せないAYAの本音 19:00～21:30

3月13日(日)

認定NPO法人 横浜こどもホスピスプロジェクト

小児・AYA 世代がん患者のアドバンス・ケア・プランニングを考えよう！
Part 3

10:30～12:00

東京都立小児総合医療センター

小児緩和ケア研修会：
テーマ「AYA世代がん患者の看取りを見据えた意思決定について考える」

13:00～16:00

岐阜県小児・AYA世代のがん等成育医療相談支援センター、
岐阜市民病院AYAサポートチーム

AYA WEEK 2022 GIFU (啓蒙イベント、講演会)
からだとびょうきについて病院の先生から聞こう！

14:00～15:20

第2回小児AYA世代について語ろう！

15:30～16:30

(主催)医学生・看護学生有志(旭川医科大学・東京医療保健大学・富山大学・長崎大学)
(共催)Cancer With AYAweek2022実行委員会(企画協力)

一緒に知ろう、がんになること、子どもをもつこと

15:00～16:30

TSURUMIこどもホスピス

「MOCKTAIL NIGHT」inTSURUMIこどもホスピス

16:00～19:00

3月14日以降 + 開催日未定

大阪大学大学院 小児家族看護学教室

AYA世代のがんについて 学ぼう、一緒に。

3月16日

山形大学医学部附属病院

東北次世代がんプロ養成プランインテンシブコースセミナー
小児思春期若年成人 (AYA世代) がん医療研修コース

3月18日

日本舞踊 扇流

第10回清樹会 MAWJチャリティー20周年記念舞踊公演

3月21日

AYA GENERATION+group

アグタサロン神奈川@AYA Week 2022

3月26日

(特非)あいおぶらす&(一社)Woman-Bridge湘南&Y's Pearl Trading (株)

チャリティワークショップ 湘南AYA week 2022

3月29日

ISNA日本スヌーズレン総合研究所

スヌーズレンって何？スヌーズレンを体験してみよう！

調整中

CANCER PHOTO+

AYA世代無料振袖撮影会

調整中

FRIENDS



AYA WEEK 2022



AYAWeek2022 ロゴデザイン：山梨 真麻

応援キャラクター提供：みさき きなこ

日本全国から70+のさまざまな団体が参加中！
詳しくはWebサイト・SNSをチェックしてください

【 イベント参加団体 】

AYA cancer support pharmacists group
AYA's Journey Japan
AYA GENERATION +group
AYAリバ
AYAweek—都吉都古ウォーク2022—
一般社団法人がんと働く応援団
一般社団法人Woman-Bridge湘南、NPO法人あ
いぶらす
CANCER PHOTO +
グリーンルーベ
血液疾患を考える患者・家族の会「リゴンの
会」
若年がん患者会ローズマリー
若年性がん患者団体 STAND UP!!
若年性がんサポートグループAYACan!!
TSURUMIこどもホスピス
NPO法人 がんのママをささえ藤ネットワーク
ETERNAL BRIDGE
NPO法人 スマイルハート
NPO法人 つながりひろば
認定NPO法人 希望の会
認定NPO法人 キャンサーネットジャパン
認定NPO法人 ゴールドリボン・ネットワーク
認定NPO法人 シャイン・オン・キッズ
認定NPO法人 にこすま丸H
認定NPO法人 横浜こどもホスピスプロジェクト
ひというプロジェクト
Hope Tree
AYAがんの医療と支援のあり方研究会
一般社団法人 日本がん看護学会
日本バーチャリアリティ学会
厚生労働科学研究「AYA世代がん患者に対する
精神心理支援プログラムおよび高校教育の提供
方法の開発と実用化に関する研究」班
ISNA日本スヌーズレン総合研究所

特定非営利活動法人スヌーズレンを普及する会

石川県立看護大学
大阪工業大学
大阪大学大学院 小児家族看護学教室
長崎県立長崎中学校・長崎県立高等学校
日本女子大学 食育ボランティアグループ
大阪国際がんセンター-AYA世代サポートチーム
大阪市立総合医療センター
大阪母子医療センター 小児がんセンター
がん研有明病院 チャイルドAYAチーム
岐阜県小児AYA世代のがん等
育成医療相談支援センター
岐阜市民病院
九州がんセンター
国立がん研究センター希少がんセンター
国立国際医療研究センター病院 初期研修医
国立病院機構 名古屋医療センター
AYAサポートチーム
順天堂大学練馬病院
知徳学園病院
東京都立小児総合医療センター
東京都立多摩総合医療センター
長崎大学病院 腫瘍内科学科
成田赤十字病院
にゅうわ会及川病院
ふかみ乳癌クリニック
山形大学医学部附属病院
アグビィ合同会社
株式会社 ウェルネスラゴ
株式会社 資生堂
株式会社 ZINE
株式会社 ビー・エー・エス
CSLペーシング株式会社
武田薬品工業株式会社
中外製薬株式会社
日本興産 相良
ノバルティスファーマ株式会社

【 寄付 】

横口宗孝がん研究基金
医療法人財団 足立病院
医療法人財団今井会足立病院 第二足立病院
NF JAPAN Group
石黒メディカルシステム株式会社
株式会社オカメディカル
富士製薬工業株式会社
中外製薬株式会社
兵庫県立尼崎小田高等学校看護医療・健康類型

【 協賛 】

認定NPO法人 シャイン・オン・キッズ
Naxter 株式会社
社会医療法人博愛会 相良病院

【 後援 】

一般社団法人 日本看護学会
一般社団法人 日本遺伝カウンセリング学会
一般社団法人 日本医療薬学会
一般社団法人 日本音楽療法学会
一般社団法人 日本歯学会
一般社団法人 日本がん看護学会
一般社団法人 日本がんサポートケア学会
一般社団法人 日本ソルコマ治療研究会
一般社団法人 日本産婦人科乳癌医学会
一般社団法人 日本小児看護学会
一般社団法人 日本生体医学会
一般社団法人 日本造血・免疫細胞療法学会
一般社団法人 日本乳癌学会
一般社団法人 日本脳神経外科学会
一般社団法人 日本泌尿器科学会
一般社団法人 日本ペインクリニック学会
公益社団法人 日本小児保健協会
公益社団法人 日本産科婦人科学会

公益社団法人 日本心理学会
公益社団法人 日本整形外科学会
公益社団法人 日本婦人科腫瘍学会
公益社団法人 日本放射線腫瘍学会
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会
認定特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会
特定非営利活動法人 スヌーズレンを普及する会
特定非営利活動法人 日本脳腫瘍学会
認定NPO法人 希望の会
認定NPO法人 キャンサーネットジャパン
認定NPO法人 シャイン・オン・キッズ
認定NPO法人 にこすま丸H
AYAリバ
グリーンルーベ
日本家族看護学会
日本がん分子標的治療学会
日本緩和医療学会
日本小児外科学会
日本小児内科学会
日本バーチャリアリティ学会
日本臨床外科学会
日本死の臨床研究会
株式会社 資生堂
日本小児がん研究グループ (JCCG)
大阪工業大学
国立大学法人 浜松医科大学
国立がん研究センター希少がんセンター
社会医療法人博愛会 相良病院
独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院
ふかみ乳癌クリニック
株式会社 ウェルネスラゴ
株式会社 ZINE
三井産業株式会社

(2022年2月15日 現在)

AYAweek2022実行委員

AYAweek2022 実行委員長

多田 雄真 大阪 大阪国際がんセンター

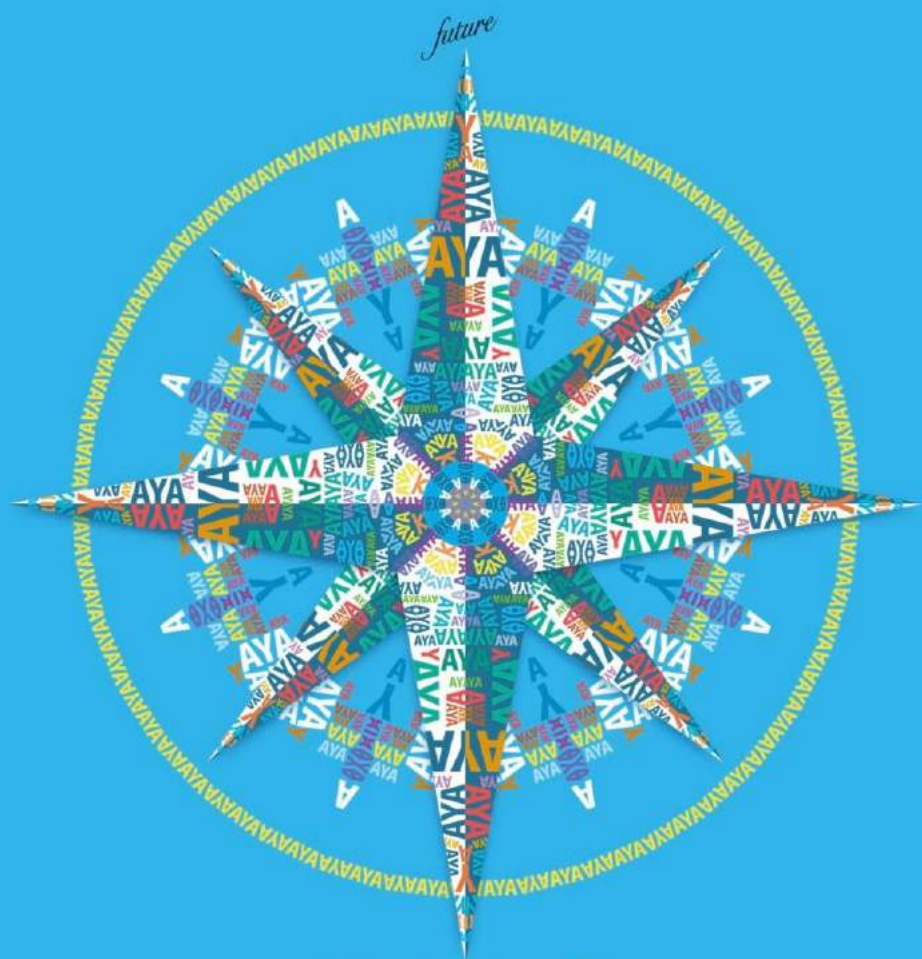
実行委員

入江 真依	愛知	名古屋医療センター
大須賀 美恵子	大阪	大阪工業大学/(株)ウエルネスラボ
小関 道夫	岐阜	岐阜大学 小児科
尾上 琢磨	兵庫	兵庫県立がんセンター 腫瘍内科
神松 あや	東京	フリーランス
岸田 徹	東京	NPO法人 がんノート
楠木 重範	兵庫	わしおこども医院
酒見 惇子	兵庫	神戸大学医学部附属病院 緩和ケアチーム/がん相談室
眞田 佐知子	京都	足立病院
白石 恵子	福岡	九州がんセンター 臨床心理士
園田 彩夏	神奈川	AYA Generation+(アグタス)
高濱 隆幸	大阪	近畿大学病院 腫瘍内科/ゲノム医療センター
瀧田 咲枝	愛知	椋山女学園大学 看護学部
田口 真由美	大阪	大阪大学医学部附属病院
津村 明美	神奈川	認定NPO法人 横浜こどもホスピスプロジェクト
寺田 和樹	千葉	成田赤十字病院 小児科
轟 浩美	東京	認定NPO法人 希望の会
富岡 晶子	東京	東京医療保健大学 医療保健学部看護学科
中嶋 万梨子	愛知	椋山女学園大学 人間関係学部研究科
橋口 絵里奈	福岡	NPO法人 スマイルハート
長谷川 裕加里	熊本	熊本市健康福祉局 子ども未来部
日置 三紀	滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部
樋口 麻衣子	富山	富山大学附属病院/富山AYA世代がん患者会Colors
福島 健太郎	大阪	大阪大学
福地 朋子	大阪	大阪母子医療センター 看護部
藤澤 文絵	大阪	大阪国際がんセンター 腫瘍内科
蒔田 真弓	福岡	フリーランス
松本 恵	長崎	長崎大学病院 腫瘍外科
森 洋文	神奈川	日本がん・生殖医療学会 里親養子縁組支援委員
横山信彦	福岡	九州がんセンター 整形外科

一般社団法人 AYAがんの医療と支援のあり方研究会理事長

堀部 敬三 愛知 名古屋医療センター

AYAがん患者のペイシェント・ジャーニーを支える



Adolescent and Young Adult
アドレセント & ヤング・アダルト

第4回 AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会

2022年 3月20日(日)・21日(祝) 19日(土) Online市民公開講座 等

会場 パシフィコ横浜 会議センター 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

大会長 天野慎介 一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事長
副会長 鈴木直 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学
渡邊知映 昭和大学保健医療学部

運営事務局 第4回 AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会 運営準備室

日本コンベンションサービス株式会社(JCS) 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命館が関ビル14階
TEL 03-3508-1214 FAX 03-3508-1302 E-mail ayaken-cong.4@convention.co.jp

www.aya-ken.jp

AYA
oncology alliance





ヤンセンが目指すのは、 病が過去のものになる未来を作ることです。

世界のすべてが、私たちの研究室。
病と懸命に闘う患者さんのために、
高い科学技術、独創的な知性、
世界中の力を合わせ、新しい可能性を切り拓く。

すべては、私たちの解決策を待つ、ひとつの命のために。
複雑な課題にこそ挑んでいく。
新しい薬を創るだけでなく、それを最適な方法で提供する。

革新的な薬や治療法を、届ける。
世界中に、私たちを待つ人がいる限り。

誰もが健やかに、いきいきと暮らす社会。
そんな「当たり前」の願いのために、
自ら変化し、努力を続けます。



ヤンセンファーマ株式会社

www.janssen.com/japan

www.facebook.com/JanssenJapan

オノ オンコロジー

ONCOLOGY[®]

for Professional

がんと向き合う患者さん、
医療関係者の皆様を支えるために。
小野薬品は本気で取り組みます。

<https://www.ono-oncology.jp/>

オンコロジーに関する最新ニュース、文献情報、学会情報をお届けいたします。

ONO 小野薬品工業株式会社

生命のリレー

善意の献血に支えられた、生命のお薬。
皆さまの温かい想いが込められた大切なバトンを、
必要とされる人たちへ、私たちがしっかりとつなぎます。

善意と医療のかけ橋

JB 一般社団法人
日本血液製剤機構

東京都港区芝浦3-1-1

<https://www.jbpo.or.jp>

JB-202110

まだないくすりを
創るしごと。

明日は変えられる。



アステラス製薬株式会社

www.astellas.com/jp/

To serve patients

患者さんのために、今できるすべてを

アムジェン株式会社
の詳細につきましては
こちらをご覧ください



アムジェンは1980年、バイオテクノロジーの黎明期に米国カリフォルニア州ロサンゼルス近郊にて産声を上げました。

バイオテクノロジーを患者さんのために設立することを決断し、以来、探求を重ねてきました。

40年を経た現在、アムジェンは世界最大規模の独立バイオテクノロジー企業へと成長しました。

日本では、循環器疾患、がん、骨疾患、炎症・免疫性疾患、神経疾患の領域に重点を置き、アンメット・メディカルニーズに応える製品開発を進めています。

アムジェン株式会社

AMGEN



Novartis Pharma K.K.

新しい発想で医療に貢献します

ノバルティスのミッションは、より充実した、すこやかな毎日のために、新しい発想で医療に貢献することです。

イノベーションを推進することで、治療法が確立されていない疾患にも積極的に取り組み、新薬をより多くの患者さんにお届けします。



ノバルティス ファーマ株式会社

<http://www.novartis.co.jp/>

わかちあう 創薬の喜び

患者さんの顔がみえる新薬の開発。
その中でも治療が困難とされる疾患に
焦点を合わせた新薬の開発を目指して。



 Symbio

シンバイオ製薬株式会社

〒105-0031

東京都港区虎ノ門3-2-2 虎ノ門30ビル

TEL 03-5472-1125 FAX 03-5472-3054

<https://www.symbiopharma.com>

たった一度の
いのちと
歩く。



KYOWA KIRIN

私たちの志 検索

2019年7月作成

People come first at Ferring

すべては「人」からはじまる



FERRING
PHARMACEUTICALS

フェリング・ファーマ株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目3番17号

2017年6月作成

子どもたちの笑顔のために、 続けてきたことがある、始めていくことがある。

小児がんは15歳未満の子どもに起こる悪性腫瘍の総称です。大人と比べて入院日数が長期にわたることが多く、自宅から離れた病院で闘病生活を送らなければならないこともあります。

アフラックはこれまでも、社員・アソシエイツ(販売代理店)がひとつになって、小児がんの子どもたちとそのご家族を支えるさまざまな活動を続けてきました。そして2019年から、My Special Aflac Duckを通じた新しい活動を始めています。

2019~



小児がんの子どもたちの「今」の気持ちに寄り添う。

My Special Aflac Duck

病院での長い入院生活。My Special Aflac Duckは、治療に取り組む子どもたちの心に寄り添うために、米国で医療関係者、ロボット開発企業とアフラックが共同開発したアヒル型ロボットです。2019年から日本の小児がん診療病院等への寄贈を進めています。

小児がんの子どもたちを「社会」で支えていく。

ゴールドリボン運動

小児がんを広く社会に知ってもらうことで子どもたちを支える社会の実現を目指します。ウォーキングイベントなどの啓発活動や寄付・募金活動を展開しています。

2006~



2001~



がんと闘うご家族の「日々」をサポートする。

アフラック ペアレンツハウス

小児がんなどの難病の子どもたちと、そのご家族をサポートする総合支援センター。遠隔地から治療に訪れる子どもたちやご家族の宿泊、専門カウンセラーによる相談支援などを行っています。

小児がんを経験した子どもたちや、親をがんで亡くした子どもたちの「明日」を応援する。

アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度

高校生を対象とした返還不要の奨学金制度。これまでに支援した奨学生は、累計2,800人を超えています。

1995~



アフラックの 小児がん支援活動

「生きる」を創る。

Aflac

What science can do

オンコロジー併用療法

アストラゼネカは、バイオ医薬品と低分子医薬品を併用することで、がん細胞を直接攻撃すると同時に、身体の自己免疫システムを活性化することにより、がん細胞の細胞死を誘発する治療法の開発に取り組んでいます。





がん治療に前向きに取り組める
未来をめざして
遺伝学的検査の進化・発展に
取り組みます

最新の知見と豊富な解析メニューで
多様ながんに対する個別化医療の実現へ

米国 Ambry Genetics社の技術を日本に紹介しています。
日本市場でのメニュー詳細はWEBサイトをご参照ください。



検査そのものや検査結果を適切に伝える
遺伝医療の専門教育成に貢献

Webinarの開催、情報提供を積極的に行います。



Ambry Genetics社について

2017年にコニカミノルタのグループ会社となったAmbry Genetics社は、最先端の遺伝子解析技術を持ち、高度な商品開発力、多様な検査項目、高い検査処理能力、遺伝カウンセラーチャネルでの圧倒的な強さを背景に、成長著しいがん領域を中心として米国の遺伝学的検査市場におけるリーダー的存在となっています。

同社は、世界で初めて診断を目的としたエクソーム解析試験を始め、遺伝性腫瘍、心臓疾患、呼吸器疾患、および神経疾患など多数の臨床向け遺伝学的検査を提供しています。カリフォルニア州に所有する最先端の大規模ラボにおいて、現在までに約500種類の遺伝子において100万件を超える遺伝学的検査の実績があります。



今そこにある立地。

ここで開業した場合、わたしは成功できるのか。



CLINIC Station Portal の「Web 診療圏調査」なら
無料で、いつでも、何度でも、試せます。

医院開業 / 医療経営のためのポータルサイト

 **CLINICStation**Portal

www.clinicstation.jp

医療経営や医院開業の情報プラットフォームとして、基礎情報から最新トレンドまで幅広くナレッジを共有していきます

医院開業のご相談・お問い合わせはこちらまで  support@clinicstation.jp



アイセイ薬局

全国390店舗以上の調剤薬局ネットワークと業界トップクラスの医療モール開発実績
【クリニック・ソリューション部 (平日 9:00~18:00 / 土・日・祝休業日)】
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビルディング

☎03-3240-0253



わたしらしさが、勇気になる。

LIFE QUALITY MAKEUP

SHISEIDO

肌の深い悩みにこたえるために

そのお悩み、ご相談ください

生まれつきのあざ、病気や治療による見た目の変化、やけどや傷跡。

不要な視線や質問が、ときに重荷になる。

もっとリラックスして人と話したい。

そんなとき、お気軽にご相談ください。

わたしたちは、半世紀以上にわたり研究を重ね、

お一人おひとりの悩みに応えるメイクの開発を行ってきました。

毎日を心地よく過ごせる自分こそが、

本当の自分らしさだと思うから。

資生堂ライフクオリティーメイクアップは、

あらゆる人が自分らしく過ごせる毎日を応援しています。

資生堂
ライフクオリティーメイクアップに
ついてはこちら



<https://corp.shiseido.com/slqm/jp/>



主催：AYAweek2022実行委員会 一般社団法人 AYAがんの医療と支援のあり方研究会

公式website

<https://ayaweek.jp>



twitter

@ayaweek2022



Facebook

@ayaweek2022



Instagram

@ayaweek2022



Tiktok

@ayaweek2022



公式LINE

@527jrniq

